事業所名　このこのリーフ　**支援プログラム**　作成日　2025 年 1 月 15 日

法人（事業所）理念		全ての児童の健やかな成長と、一人ひとりの特性に合った自立を支援します。児童にとって放課後の楽しい時間を過ごす場の提供と同時に保護者にも安心を提供できるように務める。										
支援方針		①児童の持っている能力を伸ばし、自立力を向上させる療育を行います。 ②児童の特性を理解し、怒らない支援を行います。 ③ご家族や関係機関との協力を求め、適切な環境をつくります。										
営業時間			14	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり
		支　援　内　容										
本人支援	健康・生活	(a)健康状態を把握する。到着時の検温、また活動中も常に観察を行い健康状態や心身の異変の把握に努める。 (b)生活のリズムや生活習慣の習得。定時でのトイレ誘導、、おやつを利用した摂食への援助等の実施。 (c)基本的生活スキルの獲得。自分で身支度や物の管理等ができるようにします。										
	運動・感覚	(a)姿勢と運動・動作の向上。遊びや課題を通して、身体や手先の使い方の練習します。 (b)動作の補助的手段の活用。より良い姿勢での活動が行えるよう、各々に合わせた椅子や机のセッティングする。 (c)保有する感覚の総合的な活用。運動遊びや個別での課題(認知、言語、社会性等)を提供する。										
	認知・行動	(a)認知の発達と行動の習得。視覚支援を活用し(スケジュールや手順の掲示及び自分で見て確認・行動することを促す)、見通しを持った自主的な行動につなげます。 (b)空間や時間等の概念の形成を図る。発達段階に応じた数や時計、時間の課題を提示。 (c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行います。										
	言語 コミュニケーション	(a)言語の形成と活用。机上課題などを取り入れ、理解や特性に合わせた読み書き向上のための支援を行います。プリントなどの課題、自己紹介や振り返りでの人前での発表、小集団遊びにおける場面設定を行う。 (b)言語の受容及び表出。自分の思いや要求の相手への伝え方など場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを促します。ジェスチャーなども含めた非言語コミュニケーションも活用する。 (c)コミュニケーションの基礎的能力の向上。コミュニケーションの基礎となる注目・追視・動作模倣、共同注視等を促す。指導員との適切な関係の中で、必要に応じ1対1でのやり取りを行う。										
	人間関係 社会性	(a)他者との関わり(人間関係)の形成：安定したアタッチメント形成のために、触覚過敏への配慮や支援を行う。ふれあい遊びや手遊び歌、指導員や異年齢児を含めた場での自由遊びを通して、人の動きを模倣することを促す。 (b)自己の理解と行動の調整：必要時に行動の振り返りを行うことで、自己理解を促す。トークンシステムの導入などで自己コントロールが出来るよう支援する。 (c)仲間づくりと集団への参加：小集団での活動を通し、ルールの理解や適切な振る舞いを学べるよう支援する。長期休暇には外出活動等を設定し、公共の場でのルールを知る経験を積む。										
		*活動の目標を理解し、役割やルールなどに応じて友達との協同・集団遊びへの取り組みややりとりを通して、適切な人間関係の形成を促します。*他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりするなど、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。*自分の感情や気持ちなどに関心を持ち、情緒の安定を図ります。勝敗などのある課題設定、ソーシャルスキルトレーニング、友達とのやりとりや交渉、好ましい行動などの事前予告、気持ちのコントロール、行動を認めて自尊心を高めるなど										
家族支援		・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育ての困りごとへの相談援助								移行支援	・進路先や移行先への相談援助や情報提供・併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ	
地域支援・地域連携		児童が地域で適切な支援が受けられるよう保育、教育、福祉、医療等の関係機関と連携し、地域の発達支援体制の充実や地域の発達支援に関する課題の改善・解決に努めます。								職員の質の向上	外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。	
主な行事等		・校外学習、買い物体験、外出体験等を実施										